

2025年6月3日
SOMPOひまわり生命保険株式会社

健康寿命の延伸に貢献する新たな寄付プログラムの開始

SOMPOひまわり生命保険株式会社（代表取締役社長：久米 康樹、以下「当社」）は、2025年6月10日から、健康寿命の延伸に寄与する新たな取組みとして、取引先の皆さまへの祝花・祝電に代えて、国立長寿医療研究センターへの寄付を実施するプログラムを開始します。

1. 背景・目的

当社は、「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」をSOMPOグループのパーパスとし、持続可能な社会の実現を目指し健康寿命の延伸に向けた取組みを強化しています。

このたび、サステナビリティ意識の高まりにより、祝花・祝電などのお受け取りを辞退される取引先が増加していることや、社内でも環境への配慮やビジネス慣行の見直しを求める声が高まっていることを背景に、環境負荷が少なく、社会に貢献する祝意の表明の方法を模索した結果、新たな寄付プログラムを開始します。

2. 内容

当社はこれまで、取引先の皆さまのご昇進やご栄転などのお祝い事に際して、日頃からのご愛顧に対する感謝と、一層のご活躍をお祈りする思いを込めて、祝花・祝電をお贈りしていました。今後は、取引先への祝花・祝電に代えて、それに相当する金額を当社が選定した寄付先へ寄付します。

【概要】

寄付対象案件	当社から祝花・祝電をお贈りするお祝い事（冠婚葬祭は対象外）
寄付者	SOMPOひまわり生命保険株式会社
開始時期	2025年6月10日（火）祝事申し出分より



【寄付先について】

当社は、SOMPOグループのウェルビーイング事業の一員として、健康・介護・老後資金という3つの「不」の解消を通じて、健康寿命の延伸に取り組んでいます。お客さまの豊かな人生と夢の実現をより後押しするために、健康寿命の延伸に資する研究活動を支援している国立長寿医療研究センターに寄付を実施します。

団体名	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター (https://www.ncgg.go.jp/)
設立	2004年3月
所在地	愛知県大府市森岡町7-430
業務の内容	厚生労働省が所管する国立研究開発法人であり、高齢者の健康と福祉に関する医学的研究、臨床、人材育成を行っています。国内外の研究機関や大学、医療機関と連携し、最先端の研究と高度な医療を提供することで、健康長寿社会の構築に貢献することを目指しています。

3. 今後について

当社は、本プログラムの開始に伴い、取引先の皆さまから当社の役員および社員にいただく祝意を辞退させていただくことといたしました。誠に勝手ではございますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

本プログラムを通じて、取引先の皆さまとともに、環境負荷の低減と健康寿命の延伸に貢献し、人々が年齢を重ねても、健康で自立した生活を送れる社会の実現を目指します。

以上